

会員数	37,751	(前月比) + 49
郵送	8,915	(前月比) + 526
手配り	26,094	(前月比) + 389

協同基金到達額 2,601,444,000円(7/31現在)
[前月比 21,009,000増]

協同基金出資者数 15,557名(7/31現在)
いのちを守る助け合い募金額 2,309円(7/1~31)

平和で公正な世界に



原水爆禁止2017年世界大会

新大阪駅に集合して新幹線で博多駅へ行き、そこからバスに乗り換えて長崎に到着しました。大阪代表結団式に参加(参加者303人のうち、堺からは32人)し、その後長崎市民会館体育館にて、世界大会開会式に参加しました。全国各地の旗、幟、ゼッケンで会場があふれかえり、なにか胸いっぱい嬉しい気持ちになりました。

た。また、参加者は6000人で、世界各国からの参加者の多さに驚きました。7月7日に国連で採択された核兵器禁止条約で、会議をリードされた中満泉さんは「条約の核心は核兵器を否定し、国際法として文化した点にあり、核兵器に依存する国々への警鐘である」と話し、そのうえで北朝鮮の行為を批判しました。

条約は核に依存する国への警鐘

8月7日~9日に長崎市で原水爆禁止2017年世界大会長崎大会が開かれました。7月に国連で、核兵器禁止条約が採択されてからの初めての原水禁世界大会でした。

同仁会・友の会からは20人が参加しました。ここでは友の会から参加した2人の感想文をお届けします。



長崎からのメッセージを読みあげる長崎市長

次の世代に伝えていくために

堺平和のための戦争展

8月5日・6日の2日間、サンスクエア堺にて「堺平和のための戦争展」が開催されました。1日目のステージでは合唱「ぞうれっしやがやうてきた」や、子ども達のけん玉と一輪車の発表がありました。原発事故の被害にあった福島県浪江町からは「希望の牧場」で殺処分された牛を飼った吉沢正巳さんの実体験が語られました。一度事故を起こすと、まったくコントロール

できない原発の無謀さを感じ、それによって命をないがしろにされる人や動物たちがいることに憤りを覚えました。その後には、ピースライブで多くの出演者が音楽を奏でました。

2日目には、戦争体験を語り継ぐ袋谷一郎さんと山口敬さんのお話に、多くの参加者が耳を傾けていました。展示では戦時中の教科書の資料や、堺での戦争被害、ノモンハン事件など戦争の実相を表すものから、ピースバザーや缶バッジ作りなど多彩でした。同仁会からは「とも」に掲載した戦争体験などを展示しました。

次の世代に戦争を伝えていく努力が求められています。



これからも「日本は戦争しない国」に

長崎の原水爆禁止2017年世界大会に参加し、たくさんの方を感じ、学びました。日本は戦争しない国、平和で当たり前の国、育ってきた私は、安保法制の強行採決のことすらピンと来ず、自分の事として捉えられていませんでした。

戦後72年、核兵器禁止条約採択で、日本にとってはとても意味のあることのように思えます。しかし、日本は条約に賛同していません。「何故? 唯一の被爆国なのに」と疑問に思いました。被爆者の方の被爆者体験、悲しみ、苦しみ、怒り、そして原爆の恐ろしさを知り、戦争はもう二度と



中満国連上級代表

絶対に繰り返してはならないと強く思いました。お話をしてくださった方が「0×1億は0だけど、1×1億は1億になる。1人の力は偉大だ」と話していて、「私でも何か出来るんだ」と思いました。日本は戦争しない国。これからもずっとそうであるよう、声をあげ続けたいと思います。

聴診器

9月は堺市長選挙。先日、竹山市長のタウンミーティングに参加した。歯科医から、学校検診で虫歯が見つかった受診を勧めても、半数以上が歯科を受診していない可能性がある、特に高校生では86・9%の方の受診が確認できなかったとお話があった。堺市では、中学校卒業まで医療費は1回500円、月2回まで支払えば良いが、高校生にはこの制度がない。ぜひ高校生までの制度を拡充してほしい。竹山市長はそういう方向で考えているとお話です。よく利用するタクシ